

## 虫がわからない土を開発、販売

## ひと 2015

あらいそ 荒磯 慎也さん



鉢物と無機肥料などを混ぜ合わせて虫がわからない土を開発し、販売する。葉物野菜やカブなどを水やりだけで育てられるといい、特許を申請中だ。「高齢者住宅やオフィスの中など、虫の発生を気にすることなく、野菜の栽培を楽しんでほしい」と話す。

土には中に微小な穴が多数空いているタイプの天然鉱物を使い、その穴に無機肥料とミネラルをしみこませてある。虫が好む有機物は含まれていない。昨

年9月に、札幌のマーケティング会社が主催したビジネスコンテストで優勝し、今年7月に株式会社ラテラ(札幌市中央区)を立ちあげた。

札幌市出身。工業系の大学を卒業後、札幌で車メーカーに就職した。営業職として2年を過ごしたが「もっと地域に関わりたい」と退職し、上川管内幌加内町や三笠市で農業や地域おこし事業などに携わった。

三笠市での仕事の任期が終了し「これからどうしよう」と考えていた2年前、新たな産業開発を学ぶ文部科学省の講座を受け、起業に興味を持った。当時、高齢者施設に入った叔母が趣味の家庭菜園ができずに悲しんでいたため「室内で使える土を作ろう」と研究を始めた。「手作りの仕事にやりがいを感じる。新しい野菜栽培のあり方を提案できたらいい」と語る。32歳。

土は、5号鉢に入る量の1袋入りで961円。問い合わせは同社011・200・7723へ。

(鹿内朗代)